

神戸医療福祉専門学校三田校 事業報告

① 設置学校・学科・課程

神戸医療福祉専門学校三田校（三田市福島501-85）

理学療法士科	昼間部	4年制課程
作業療法士科	〃	4年制課程
言語聴覚士科	〃	4年制課程
救急救命士科	〃	2年制課程
義肢装具士科 4年制	〃	4年制課程
義肢装具士科	〃	3年制課程
整形靴科	〃	2年制課程
整形靴科 1年制	〃	1年制課程

② 施設・設備の状況

所在地：兵庫県三田市福島 501 番 85

校地面積：4,945 m²

校舎面積：総床面積（4棟） 7,707 m²

第1校舎	普通教室	9室	実習室	2室
	学生ホール	1室	図書室	1室
第2校舎	普通教室	2室	実習室	4室
第3校舎	普通教室	1室	実習室	4室
第4校舎	普通教室	7室	階段教室	1室
	保健室	2室	教員室	1室
	コンピュータルーム	1室	実習室	11室

③ 広報活動状況

	資料請求数	イベント参加者数	出願者数	入学者数
理学療法士科	1614	130	47	42
作業療法士科	493	84	35	34
言語聴覚士科	487	77	42	38
救急救命士科	843	150	72	53
義肢装具士科 4年制	424	103	27	24
義肢装具士科			18	17
整形靴科	297	73	29	28

掲載媒体誌 リクルート、日本ドリコム、JS コーポレーション他。

高校訪問件数 209校

高校校内ガイダンス 402校 参加者 996名

会場ガイダンス 132会場 // 152名
 (※上記数字はすべて中央・三田校合同で参加したもの)

④ 教育活動状況

イ) 中途退学

理学療法士科	12名
作業療法士科	7名
言語聴覚士科	5名
救急救命士科	10名
義肢装具士科4年制	8名
義肢装具士科	5名
整形靴科	3名
整形靴科1年制	1名

- ※ J E S Cキャリアサポートアンケートを活用し、一人ひとりの状況に合った対策を実施した結果、改善傾向を示してはいるが、特にモチベーションや生活面におけるつまずきがあるため、面談を行っている。
- ※ 初年次退学者の退学防止策として、学科組織を横断した初学年委員会を組織し、学生対応、クラスマネジメントのノウハウ共有に努めた。
- ※ 長欠者については、保護者との連携のもと担任を中心としたカウンセリングを行い、退学防止に努めた。
- ※ 専門医への受診が必要となるほどの、精神的な疾患を抱えて入学するケースや家庭環境が複雑で学校生活に困難をきたす入学者が多かった。担任によるカウンセリングと学生相談室の取り組みの強化を図っている。(カウンセラーの派遣・緊急時対応病院との連携)
- ※ 基礎学力の低下による学業不振により退学に結びつくケースがあるため、在学中の補講、入学前教育の強化を実施している。
- ※ 経済面のサポートとして、病院や企業の奨学金返済支援制度や自治体の奨学金等を案内している。

ロ) 国家試験合格率

理学療法士科	64.9%	(37/24)
作業療法士科	74.1%	(27/20)
言語聴覚士科	66.6%	(36/24)
救急救命士科	100.0%	(42/42)
義肢装具士科4年制	100.0%	(23/23)
義肢装具士科	100.0%	(20/20)

ハ) 海外研修・留学

海外研修

義肢装具士科 4年制・義肢装具士科

オーストラリア（平成30年9月29日～10月6日）

ラ・トロープ大学での研修

- ・ 学生生活や学校紹介のプレゼンテーション
- ・ 現地学生と障害評価学実習、採型実習
- ・ バララット病院の義肢装具 Department 見学。

香港理工大学での研修

- ・ 学内研究施設の見学
- ・ 九龍大学での義肢装具士室の見学
- ・ 現地学生との交流

救急救命士科 アメリカ（平成30年4月15日～4月21日）

サウスウエスタンカレッジ 見学、講義（パラメディックコース）

- ・ 校内見学・講義「薬剤、CPRの講義」「アメリカの救急医療について」
- ・ 民間救急ヘリ見学・消防署見学
- ・ 水難救助訓練・解剖実習

理学療法士科 オーストラリア（平成30年8月25日～9月1日）

ラ・トロープ大学での研修

Mill Park Physiotherapy Centre 見学

- ・ 講義：ピラテス、テーピング、理学療法士の開業について
- ・ 解剖学実習（人体解剖・下肢）
- ・ 超音波講義と実習
- ・ 歩行パターンの分析 等

作業療法士科 オーストラリア（平成30年8月25日～9月1日）

ラ・トロープ大学での研修

- ・ バララット病院見学
- ・ 講義：福祉用具、作業療法士の開業について
- ・ 解剖学実習（人体解剖・上肢）
- ・ 日常生活動作講義と実習

言語聴覚士科 オーストラリア（平成30年5月5日～5月11日）

クィーンエリザベスセンター・ベースホスピタルでの研修

- ・講義：小児・成人領域の海外事情について
- ・発達障害児、失語症患者の言語セラピー嚥下訓練見学

整形靴科 ドイツ（平成30年10月13日～10月20日）

フランクフルト・Waldi 社 靴メーカー見学

- ・Starke Schuhe 社 整形靴工房見学
- ・Siebenlehn マイスター学校見学
- ・SPENLE 木型メーカー見学

⑤ 就職活動状況（就職希望者就職率※国試不合格者除く）

理学療法士科	24名中24名就職	100%
作業療法士科	20名中20名就職	100%
言語聴覚士科	24名中24名就職	100%
救急救命士科	42名中35名就職、	83.8%
義肢装具士科4年制	23名中22名就職	95.6%
義肢装具士科	20名中20名就職	100%
整形靴科	25名中25名就職	100%
整形靴科1年制	2名中 2名就職	100%

⑥ 特色ある事業活動報告

理学療法士科

- ・1年生、2年生の社会福祉協議会への実習

1年生は「高齢者と適切にコミュニケーションを取る」ことを、2年生は「理学療法士として患者様に医療面接を適切に実施する」ことを目的として実施した。対象は、社会福祉協議会を利用されている約40名の高齢者で、方法は、学生主体のレクリエーション後、30分のフリートークの時間を設けた。結果、1年生は敬語の使い方、姿勢や視線、また共感の仕方などが勉強になり、2年生は、こちら側が聞きたいことを適切な時間内で聞くこと、相手のペースに巻き込まれずに話すことの難しさを感じたようだった。

また、「いきいき百歳体操」の指導を通じて、効果判定の評価を学生が主体として行った。

三田市内高校の野球部・パナソニックパンサーズ(プロバレーボールチーム)のフィジカルチェックを通じて、理学療法評価の学習を行った。

作業療法士科

- ・産学連携として、三田市社会福祉協議会デイサービス事業（障害者デイ、高齢者デイ）に1,2年生が「地域活動演習」で参加した。

救急救命士科

- ・神戸市消防学校体験入隊
1年生の導入教育として、規律訓練を実施
- ・三田学園CPR講習会
地域貢献事業として、高校での心肺蘇生講習会を教員と1年生で指導。
- ・スチューデントラリー
2005年より2年間の総括としてシミュレーション技術研修会「スチューデントラリー」を開催している。スチューデントラリーとは模擬傷病者を観察して、的確な判断、処置を行えるかを競い合う競技会である。実習班6チームで直前まで会場さえ知らされてない6つのステーション（異なる症例）を回り、合計点で順位を決定する。毎回、医師、看護師、救急救命士、卒業生など100名以上にも及ぶスタッフの協力のもと運営。保護者の皆様には立派に成長した学生達の姿を見て頂く絶好の機会でもあり、先輩医療従事者との交流、卒業生には卒後研修の一環として、クラス全体で行う重要な最後のイベントとして位置付けられている。

義肢装具士科4年制

- ・タイ マヒドン大学での臨床実習
国際交流の一環として、海外教育提携校のタイ王国マヒドン大学で、3年生の臨床実習を実施。語学学習にも力が入り、後輩学生への憧れの役割となっている。また、海外の義肢装具の状況を学ぶことにより、将来の進路の職域拡大にもなっている。
- ・脳性麻痺特別講義
The Hong Kong Polytechnic University より M.S. WONG 氏を特別講師として招聘し、国際的視野を広げるための講演を行った。
- ・新しい技術の日本導入
大腿義足ソケット（NUFLEX ソケット）の伝達講習会を日本で初めて開催することが出来た。学生には新しい技術を見せることが出来たことと、業界から高い評価を頂いた。

整形靴科 シューフィッティングデー『足と靴の健康相談会』

整形靴科設立当初から学園祭で実施している。学園祭前から地域の広報誌や新聞へのパブリシティ、インターネットなどで広報し、地域の方を中心に、保護者や在校生なども含めて、足と靴に関するお悩みをお持ちの方々や、自分の足に合った靴を知りたいという方々に対し、学生達が、アドバイスや靴のフィッティングを行う。実施内容としては、フットプリント採取（足圧測定）、フットプリントからわかる足の状態の説明、足の長さ・幅の採寸、現在履いている靴の消耗チェック、試着用コンフォートシューズを用いての、足に合う靴の提案とフィッティングである。また、希望者にはP

OSCでの健康靴の紹介もしている。

○卒業制作展示会

整形靴科卒業年次生が整形靴の啓蒙活動を目的として、卒業制作実習の授業で製作した靴をメインに、展示会の企画・広報・運営を全て自分達で行うイベントである。2018年度で16回目の開催であった。学生達はまず展示会のテーマを決め、それに

合わせて展示内容やディスプレイ、ポスター、ダイレクトメール、展示会場まで考え、与えられた予算内で1年かけて準備していく。学校を含む2会場で開催し、来場者へのアンケート実施や接客対応も学生が行う。展示会を通して社会と接する経験を積めるとともに、リーダーシップや問題解決力の育成も期待されるイベントである。8日間で合計約370名の来場者を迎えることができ、新聞各紙でも取り上げられた。

⑦ 教職員研修

4月 教職員研修

※4校合同で「専門学校教職員として知っておくべきこと」として、個人情報保護、学生証の取扱・ノロウイルスの感染防止・自転車保険の加入条例・学生や教職員のSNS等モラルについての徹底。など研修実施した。

・各学校・各学科・各部署からの今年度事業計画を発表。

5月 防災訓練

※火災などの災害発生時の対応について、消防署立会いのもとで避難誘導訓練を実施し、消火栓の操作や誘導時の留意点についての勉強会を実施した。

8月 CPA アカデミック研修

※神戸滋慶学園3校の教職員を対象に、学校において個人情報を扱うために必要となる知識を習得した。

12月 神戸滋慶学園教職員研修

※全教職員が参加し、「高等教育の負担軽減制度」等教育を取り巻く環境変化に伴い、常に定員充足できる強い組織を目指す。をテーマに教職員全員が理解と共有を行なった。

また最近のSNSの事例から～被害者にも加害者にもさせない為に～

情報セキュリティについてを、兵庫県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課サイバー犯罪防犯センターの兵庫県警部補 本田英理氏に講演をしていただいた。『定員充足の為にイノベーションとリノベーション』をテーマに学科ごとにグループワークを実施し、①学科の3Pを考える。②学校関係者評価委員・教育課程編成委員の意見を検討する。について、プレゼンテーションを行い、意識の共有を図った。

⑧ 総務・法務・リスクマネジメント

6月 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士、救急救命士養成施設等報告
※兵庫県医務課に対する年次報告。

8月 CPR講習会

⑨ 2018年4月6日 入学式（ANAクラウンプラザ神戸）

※式典の第2部では、最初の授業として、救急救命士科のシミュレーションや、在校生、卒業生のプレゼンテーションを含めた最初の授業～職業人教育とキャリア教育～「みなさんの「夢」を実現するために」を実施した。

2019年3月14日 卒業証書授与式（ホテルオークラ神戸）

※3校合同で実施した。

⑩ 学生活動

- ・学園祭を学友会と学校の代表者からなる委員会で運営。
- ・クラブ活動

⑪ 同窓会・卒後教育

各学科で卒後研修会を実施

⑫ 職業実践専門課程

2018年7月16日 第1回学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

2019年2月11日 第2回学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会